

# 特別演題プログラム

会頭講演 6月3日(土) 11:00~12:00 第1会場

## 傷寒雑病論を学ぶ：張仲景から葉天士にかけて

座長：松田 邦夫（漢方医学研究所松田医院）

演者：金子 幸夫（金子医院院長）

特別講演 1 6月3日(土) 10:00~11:00 第1会場

## 漢方医家からみた医の倫理

座長：佐藤 祐造（愛知みずほ大学）

演者：佐藤 弘（新潟医療福祉大学 医療経営管理学部）

特別講演 2 6月3日(土) 14:00~15:00 第1会場

## 漢方診療35年の経験から

座長：金子 幸夫（金子医院）

演者：花輪 壽彦（北里大学東洋医学総合研究所）

特別講演 3 6月3日(土) 15:00~16:00 第1会場

## 古典は臨床医の目で読む - 自験例から考える -

座長：金倉 洋一（かなくらレディスクリニック）

演者：松田 邦夫（漢方医学研究所 松田医院）

教育講演 1 6月3日(土) 9:00~10:00 第1会場

## 本草学者『丹波修治』

座長：牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科 生薬学分野）

演者：河村 典久（金城学院大学薬学部）

教育講演 2 6月3日(土) 16:00~17:00 第1会場

## 漢方の多様性

座長：嶋田 豊（富山大学大学院医学薬学研究部 和漢診療学講座）

演者：小曾戸 洋（北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部）

教育講演 3 6月3日(土) 17:00~18:00 第1会場

## 咽中灸燻 いんちゅうしゃうれん - 不可解な咽中の怪 -

座長：伊藤 嘉紀（末盛クリニック）

演者：山際 幹和（介護老人保健施設 みずほの里）

教育講演4 6月4日(日) 9:00~10:00 第1会場

**女性と漢方**

座長：中田 敬吾 (医療法人聖光園 細野診療所)  
 演者：木村 容子 (東京女子医科大学 東洋医学研究所)

教育講演5 6月4日(日) 10:00~11:00 第1会場

**地域医療における漢方の役割**

座長：三谷 和男 (医療法人 三谷ファミリークリニック)  
 演者：田澤 寛子 (医療法人社団真養会 田沢医院)

教育講演6 6月4日(日) 11:00~12:00 第1会場

**女性のライフサイクルと漢方・鍼灸治療 –健康増進のために–**

座長：赤尾 清剛 (医療法人聖光園 細野診療所 名古屋診療所)  
 演者：石野 尚吾 (医療法人社団香雲会 石野医院)

教育講演7 6月4日(日) 9:00~10:00 第2会場

**COIにおける漢方標準化の取り組み**

座長：及川 哲郎 (北里大学東洋医学総合研究所)  
 演者：小田口 浩 (北里大学東洋医学総合研究所)

日本東洋医学会学術賞受賞講演 6月3日(土) 13:30~14:00 第1会場

**現代における口訣の検証と漢方医学的エビデンス構築  
 –抑肝散加陳皮半夏と釣藤散が有効な頭痛を中心に–**

座長：佐藤 弘 (新潟医療福祉大学医療経営管理学部)  
 演者：木村 容子 (東京女子医科大学 東洋医学研究所)

# 特別演題プログラム

## 特別シンポジウム 1

6月3日(土) 9:00~11:00 第2会場

### 「君も達人になれる。」(漢方の勉強法。漢方の楽しみ方。)

座長：杵渕 彰 (青山杵渕クリニック)  
金倉 洋一 (かなくらレディースクリニック)

#### SP1-1 わたしの漢方医学の学び方

秋葉 哲生 (あきば伝統医学クリニック)

#### SP1-2 漢方の口訣とその魅力

稲木 一元 (青山稲木クリニック)

#### SP1-3 私はこうして漢方に魅せられた

貝沼茂三郎 (九州大学大学院医学研究院地域医療教育ユニット)

#### SP1-4 現代医療に活かす漢方

嶋田 豊 (富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学)

#### SP1-5 山形に伝えられた浅田流漢方

中村東一郎 (中村医院)

#### SP1-6 これから漢方を学ぶ方へ

福澤 素子 (表参道福澤クリニック)

## 特別シンポジウム 2

6月3日(土) 16:00~18:00 第2会場

### 近世・現代の比較から漢方の明日を考える

座長：山口 英明 (公立瀬戸旭看護専門学校、Kこどもクリニック・公立陶生病院漢方外来)  
伊藤 隆 (東京女子医科大学 東洋医学研究所)

#### SP2-1 真武湯の活用 -高齢者の急性病態への応用-

加島 雅之 (熊本赤十字病院 総合内科・総合診療科)

#### SP2-2 現代における口訣の構築に向けて

木村 容子 (東京女子医科大学 東洋医学研究所)

#### SP2-3 古典とエビデンス

高山 真 (東北大学病院)

#### SP2-4 近世と現代の小児漢方の比較および新たな方向

山口 英明 (公立瀬戸旭看護専門学校、Kこどもクリニック・公立陶生病院漢方外来)

伝統医学セミナー

6月2日(金) 16:00~18:00

第1会場

嗅覚障害の診療に及ぼす伝統医学のインパクト

座長：市村 恵一（石橋総合病院）  
山際 幹和（介護老人保健施設 みずほの里）

TM-1 嗅覚障害の機序とその治療

市村 恵一（石橋総合病院）

TM-2 嗅覚障害の漢方診療

小川 恵子（金沢大学附属病院 漢方医学科）

TM-3 漢方薬を用いた嗅覚障害の治療 —現状と将来の展望—

三輪 高喜（金沢医科大学 耳鼻咽喉科学）

医師のための鍼灸モーニングセミナー

6月3日(土) 8:30~9:00

第10会場

鍼灸治療における虚実について

座長：赤尾 清剛（聖光園細野診療所 名古屋診療所）

医師のための鍼灸特別セミナー

6月3日(土) 9:00~12:00

第10会場

鍼灸を実践するために

座長：赤尾 清剛（聖光園細野診療所 名古屋診療所）  
山岡傳一郎（愛媛県立中央病院 漢方内科・鍼灸治療室）

AS-1 鍼灸を実践するために

赤尾 清剛（聖光園細野診療所 名古屋診療所）

AS-2 世界から見た鍼灸、鍼灸から見た世界、そしてこれから何が  
必要か～医師が最も容易くできる鍼灸の実践～

山岡傳一郎（愛媛県立中央病院 漢方内科・鍼灸治療室）

AS-3 穴性の研究方法について

関 隆志（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター サイクロトロン核医学研究部）

## 特別演題プログラム

## 漢方入門講座1

6月3日(土) 9:00~12:00

第7会場

座長：大塚 吉則（北海道大学大学院教育学院 健康体育学分野）

**K1-1 臨床に役立つ『気』の概念**

大野 修嗣（大野クリニック）

**K1-2 血の病態と治療方剤**

柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所 漢方診断学分野）

**K1-3 漢方における「水」の異常の考え方と治療**

並木 隆雄（千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学）

**K1-4 口訣**

室賀 一宏（仁恵会黒河内病院 内科）

**K1-5 知っておきたい 望診・問診・問診のポイント**

木村 豪雄（桜十字福岡病院）

**K1-6 漢方と切診**

若山 育郎（関西医療大学）

## 漢方入門講座2

6月3日(土) 13:30~16:30

第7会場

座長：竹川 佳宏（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院、徳島大学）

**K2-1 循環器疾患の漢方治療**

溝部 宏毅（岩手県立久慈病院）

**K2-2 呼吸器疾患の漢方治療－かぜを中心に**

本間 行彦（北海道漢方医学センター附属北大前クリニック）

**K2-3 漢方治療が有用な消化器疾患**

竹内 正（竹内医院）

**K2-4 小児の漢方治療**

青山 重雄（あおやまクリニック）

**K2-5 放射線治療の合併症と漢方治療**

尾崎 正時（静岡市立清水病院 放射線治療科・漢方外来）

**K2-6 薬剤師の漢方治療への関わり**

森 博美（たんぼぼ薬局株式会社）

漢方入門講座3

6月4日(日) 9:00~12:00

第7会場

座長：中村東一郎（中村医院）

- K3-1 皮膚科領域の漢方治療**  
桜井みち代（桜井医院）
- K3-2 整形外科領域の漢方治療 一気・血・水の異常別、および痺症一**  
喜山 克彦（喜山整形ハーブクリニック）
- K3-3 産婦人科領域の漢方治療**  
阿部 聡（永田産婦人科）
- K3-4 耳鼻咽喉科領域の漢方治療のピットホール**  
今中 政支（いまなか耳鼻咽喉科）
- K3-5 糖尿病・肥満領域の漢方治療**  
宇野 智子（愛知学院大学心身科学部 健康栄養学科）
- K3-6 口腔領域への漢方治療 一口内炎・歯周病・口臭症一**  
王 宝禮（大阪歯科大学 細菌学講座）

シンポジウム1

6月2日(金) 16:00~18:00

第2会場

ステロイドに頼らない アトピー性皮膚炎の治療

座長：吉田 政己（すずこどもクリニック）

山中 章好（百合が丘クリニック）

- S1-1 新生存学の構築を！**  
王 瑞雲（東診療所所長）
- S1-2 脱ステロイドという生き方を、漢方で支援するということ**  
田代 亜紀（そらクリニック）
- S1-3 漢方煎じ薬を用いた難治性アトピー性皮膚炎治療**  
山中 章好（百合が丘クリニック）
- S1-4 漢方外用薬によるアトピー性皮膚炎の治療 一入浴剤を中心に一**  
吉田 政己（すずこどもクリニック 顧問）
- S1-5 患者として医師として、アレルギー性疾患の治療経験から 一その時、患者にとって最良の治療とは一**  
吉田 也恵（淀川キリスト教病院 呼吸器内科）
- S1-6 皮疹の部位から湿疹を治療する方法**  
龍神 綾子（りゅうじん医院）

## 特別演題プログラム

## シンポジウム2

6月3日(土) 10:30~12:00 第4会場

## 心と脳の漢方治療

座長：山田 和男（東北医科薬科大学病院 精神科）

真鈴川 聡（ますずがわ神経内科クリニック）

**S2-1 加味帰脾湯の投与のみで認知機能が改善し、偽性認知症と考えられた2例**

松尾 皇（三重大学医学部 神経内科）

**S2-2 抑肝散とその加味方により問題行動が著しく改善した認知症の3例**

真鈴川 聡（ますずがわ神経内科クリニック）

**S2-3 不眠症状への漢方薬の効果 – 自験例からの考察 –**

井口 博登（神経科浜松病院）

**S2-4 身体表現性障害の症例に対する六君子湯の効果**

田 亮介（駒木野病院）

**S2-5 鉄欠乏症の臨床と漢方治療**

奥平 智之（東京女子医科大学東洋医学研究所）

## シンポジウム3

6月3日(土) 13:30~15:00 第4会場

## 現代における本草学

座長：牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科 生薬学分野）

松岡 尚則（岡林病院）

**S3-1 処方読解による生薬の薬能へのアプローチ**

金 兌勝（愛知県薬剤師会）

**S3-2 『宋板傷寒論』処方の生薬量を一考する**

笛木 司（松花堂マツヤ薬局、東邦大学医学部東洋医学研究室）

**S3-3 生薬の煎じ方の違いの科学的分析**

角野めぐみ（千葉大学柏の葉診療所）

**S3-4 本草書における乾姜の調製法に関する科学研究**

太田 美里（名古屋市立大学大学院薬学研究科）

**S3-5 単味生薬における薬効の標準化案の作成**

牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科 生薬学分野）

## シンポジウム4

6月3日(土) 15:00~16:30 第4会場

## 総合診療医と漢方

座長：佐藤 寿一（名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学）

伊吹 恵里（愛知医科大学総合診療科、磯部内科医院）

## S4-1 漢方は総合診療における多様性ニーズの切り札となりうる

伊吹 恵里（愛知医科大学総合診療科、磯部内科医院）

## S4-2 群馬大学総合診療部における漢方治療

佐藤 浩子（群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学）

## S4-3 感染症と漢方

鍋島 茂樹（福岡大学病院総合診療部・東洋医学診療部）

## S4-4 現代・漢方両医学をつなぐ総合診療医の視点

浅羽 宏一（近森病院 総合診療科）

## S4-5 総合診療医によるプライマリ・ケアと漢方治療

山川 淳一（JA長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院）

## シンポジウム5

6月3日(土) 16:30~18:00 第4会場

## 現代漢方の魅力～日常診療の中のエビデンス～専門医の一押し処方～

座長：村松 慎一（自治医科大学地域医療学センター 東洋医学部門）

大熊 康裕（栄漢方内科クリニック）

## S5-1 AIによる総合診療支援システム

村松 慎一（自治医科大学 東洋医学部門）

## S5-2 肥満症治療への新たなる挑戦 ～葛根湯編～

大熊 康裕（栄漢方内科クリニック）

## S5-3 これからの認知症診療における漢方薬の役割

石田 和之（座間総合病院 漢方・老年医学科、東京女子医科大学東洋医学研究所）

## S5-4 整形外科における補剤の有用性について

吉田 祐文（那須赤十字病院 整形外科）

## S5-5 古典の考え方の現代的活用について（証に関する一考察）

丹羽 幸吉（明陽クリニック）

## 特別演題プログラム

## シンポジウム6

6月3日(土) 9:00~10:30

第5会場

## がんの漢方治療 ～総力戦のがん治療における漢方の位置づけ～

座長：星野恵津夫（がん研有明病院 漢方サポート科）

玉嶋 貞宏（玉嶋血液内科・漢方診療所）

## S6-1 抗癌剤の副作用軽減を目指した漢方薬治療

河野 透（札幌東徳洲会病院先端外科センター、北海道大学大学院薬学研究院）

## S6-2 フローチャート漢方薬 がん治療編

新見 正則（帝京大学医学部 外科）

## S6-3 「組み合わせ漢方」と「立体漢方」によるがん治療

星野恵津夫（がん研有明病院 漢方サポート科）

## S6-4 「統合医療」によるがん治療

川嶋 朗（東京有明医療大学保健医療学部 鍼灸学科）

## S6-5 がん治療とスピリチュアリティ

長堀 優（育生会横浜病院 院長）

## シンポジウム7

6月3日(土) 10:30~12:00

第5会場

## 眼科漢方治療 –心に残る症例–

座長：竹田 眞（竹田眼科）

金田 康秀（かなだ眼科クリニック）

S7-1 初発のVogt-小柳-原田病に  
竜胆瀉肝湯（一貫堂）と五苓散の併用が奏効した1例

金田 康秀（かなだ眼科クリニック）

## S7-2 強い球結膜充血に柴胡桂枝湯が奏効した一例

半田喜久美（多治見眼科院）

## S7-3 虚火による角膜ヘルペスの1例と実火による甲状腺眼症の1例について

黒木 悟（黒木眼科医院）

## S7-4 白内障手術後の不調に対する漢方治療

藤東 祥子（ふじとう眼科医院）

## S7-5 眼球結膜リンパ管拡張と管内出血

竹田 眞（竹田眼科）

シンポジウム8

6月3日(土) 13:30~15:00

第5会場

日本漢方の多様性

座長：矢数 芳英（東京医科大学病院 麻酔科／温知堂矢数医院）  
鶴田 光敏（つるた小児科）

**S8-1 一貫堂の頻用処方・五積散の現代における使い方**

矢数 芳英（東京医科大学病院 麻酔科、温知堂矢数医院）

**S8-2 森道伯先生の頻用処方・防風通聖散についての一考**

古賀 実芳（東京慈恵会医科大学 総合診療内科、公益財団法人 研医会）

**S8-3 山本巖流漢方とは何か**

鶴田 光敏（つるた小児科）

**S8-4 山本巖医学に学ぶ東西統合医学の実践について  
—「気滞」とは眼に観える中腔臓器の蠕動異常である—**

山方 勇次（山方内科医院）

**S8-5 日本漢方の多様性**

聖光園細野診療所の臨床研究から

赤尾 清剛（聖光園細野診療所 名古屋診療所）

**S8-6 細野漢方（坂口流）**

渡邊 一幹（渡邊醫院）

シンポジウム9

6月3日(土) 15:00~16:30

第5会場

妊娠と漢方

座長：後山 尚久（大阪医科大学健康科学クリニック）  
佐藤 泰昌（岐阜県総合医療センター 産婦人科・漢方外来）

**S9-1 不妊症治療における東洋医学の実際**

中山 毅（JA 静岡厚生連静岡厚生病院 産婦人科）

**S9-2 妊娠初期・安胎薬の使い方**

後山 尚久（大阪医科大学健康科学クリニック）

**S9-3 妊娠中期における漢方治療の関わり**

清水 正彦（清水医院）

**S9-4 妊娠後期における漢方の使用法**

佐藤 泰昌（岐阜県総合医療センター 産婦人科・漢方外来）

**S9-5 産後の不調に対する漢方治療**

武田 卓（近畿大学 東洋医学研究所）

## 特別演題プログラム

シンポジウム10

6月3日(土) 16:30~18:00

第5会場

## 心・腎・血管病の漢方治療

座長：小野 孝彦（国際医療福祉大学熱海病院 腎臓内科）

北村 順（神戸海星病院 内科）

## S10-1 七物降下湯の腎性高血圧改善作用とその作用機序

牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科 生薬学分野）

## S10-2 心臓血管外科における漢方の役割

福岡 正平（大津赤十字病院 心臓血管外科）

## S10-3 循環器診療における漢方の役割

北村 順（神戸海星病院）

## S10-4 慢性腎臓病・高血圧の漢方治療

小野 孝彦（国際医療福祉大学熱海病院 腎臓内科）

## S10-5 維持透析患者の漢方治療

和田健太郎（日本鋼管福山病院 内科・透析センター）

シンポジウム11

6月4日(日) 13:30~15:00

第1会場

## 漢方は心の病にどこまで踏み込めるか

座長：中川 良隆（中川内科医院）

玉嶋 貞宏（玉嶋血液内科・漢方診療所）

## S11-1 精神療法としての漢方診療

石川 利博（いしかわハーブクリニック）

## S11-2 メンタルヘルスにおける栄養と漢方

奥平 智之（東京女子医科大学東洋医学研究所）

## S11-3 気血の巡りと心の病

玉嶋 貞宏（玉嶋血液内科・漢方診療所）

## S11-4 漢方は心の病にどこまで踏み込めるか

—アンケート調査の結果を踏まえて—

中川 良隆（中川内科医院）

## S11-5 精神医学から漢方医学へのメッセージ：レジリアンスをめぐる

高岡 健（岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター）

シンポジウム12

6月4日(日) 15:00~16:30 第1会場

皮膚疾患の治療 六経と蔵象と漢方

座長：二宮 文乃（アオキクリニック）  
荒浪 暁彦（あらなみクリニック）

**S12-1 太陽病位における漢方治療例について**

荒浪 暁彦（あらなみクリニック）

**S12-2 少陽病（胆経の病）：**

娘の下肢麻痺の改善に伴い良くなっていった母親の皮疹

越川 真理（風林堂クリニック）

**S12-3 二宮塾 皮膚疾患の治療**

陽明病の治療（胃・小腸・三焦・大腸）

五十嵐晴巳（いがらし皮ふ科）

**S12-4 太陰脾経の皮膚病**

桜井みち代（桜井医院）

**S12-5 少陰病（腎経）における皮膚疾患の漢方治療**

大竹 直樹（海岸通り皮ふ科）

**S12-6 厥陰肝経の病**

二宮 文乃（アオキクリニック）

シンポジウム13

6月4日(日) 9:00~10:30 第5会場

小児疾患：小児漢方の新たな展開

座長：山口 英明（公立瀬戸旭看護専門学校、Kこどもクリニック・公立陶生病院漢方外来）  
八木 実（久留米大学医学部 小児外科）

**S13-1 小児科漢方の新たな展開 システムバイオロジーと漢方**

黒木 春郎（医療法人嗣業の会 外房こどもクリニック）

**S13-2 発達障害の漢方治療から見えてきた本治と標治**

川嶋浩一郎（つちうら東口クリニック院長、横浜薬科大学客員教授）

**S13-3 小児外科領域**

大谷 俊樹（かみさぎキッズクリニック）

**S13-4 小児アレルギー疾患に対する漢方治療の可能性**

木許 泉（広瀬クリニック）

## 特別演題プログラム

シンポジウム14

6月4日(日) 10:30~12:00

第5会場

## 皮膚科における漢方療法の実際

座長：前田 学（新生会八幡病院 皮膚科）  
小林 裕美（こばやし皮膚科クリニック）

## S14-1 柴苓湯の皮膚科的応用—生薬併用の効果—

前田 学（新生会八幡病院 皮膚科）

## S14-2 皮膚疾患治療における補剤併用の実際

小林 裕美（こばやし皮膚科クリニック）

## S14-3 駆瘀血剤の使用方法

三澤 恵（富山大学大学院医学薬学研究部 皮膚科）

## S14-4 アトピー性皮膚炎における自汗盗汗の治療

三田 哲郎（三田皮膚科クリニック）

## S14-5 踵の疼痛及び褥瘡潰瘍に対する内服・外用療法

古橋 健彦（三重県立志摩病院 東洋医学・皮膚科）

シンポジウム15

6月4日(日) 15:00~16:30

第5会場

## 在野の漢方治療

座長：峯 尚志（峯クリニック 内科）  
玉田 耕一（入間川病院）

## S15-1 青黛を用いた潰瘍性大腸炎の治療経験

峯 尚志（峯クリニック）

## S15-2 鍼を活かした診療を目指して

竹本 喜典（タケモトクリニック）

## S15-3 在宅医療に漢方を活かして

稲井 理仁（大阪北ホームケアクリニック）

## S15-4 今に生きる傷寒論 ～小児感染症外来の現場から～

紀 優子（きの小児科医院）

## S15-5 重症心身障児（者）の漢方医療より学ばせていただいたこと

玉田 耕一（入間川病院）

## S15-6 釣藤散を用いた社会（交）不安障害の治療

古田 義博（古田医院）

## S15-7 漢方薬・鍼・心理療法の接点と展開

神田 博（日本自然医学研究所、京都大学大学院医学研究科）

## S15-8 生活指導と漢方薬で病気を治す（湿熱による異病同治例）

円山 信二（医療法人円山医院）

シンポジウム16

6月4日(日) 9:00~10:30 第6会場

これから注目される呼吸器疾患治療方剤

座長：伊藤 隆（東京女子医科大学 東洋医学研究所）  
佐々木智康（ささきクリニック）

**S16-1 咳喘息患者にみられる胸痺の治療（茯苓杏仁甘草湯、神秘湯、鉄剤）**

伊藤 隆（東京女子医科大学 東洋医学研究所）

**S16-2 呼吸器疾患における人参湯の役割**

鈴木 朋子（福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座）

**S16-3 嚥下性肺炎に対する補中益気湯を中心とした参耆剤の臨床的有効性**

加藤 士郎（野木病院）

**S16-4 後鼻漏における小半夏加茯苓湯の有効性**

田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

シンポジウム17

6月4日(日) 10:30~12:00 第6会場

漢方医学教育の現状とこれから

座長：喜多 敏明（辻仲病院柏の葉 漢方未病治療センター）  
石上 友章（横浜市立大学大学院医学研究科 病態制御内科学）

**S17-1 漢方医学卒前教育モデル・コア・カリキュラム  
—国家試験導入を目指して—**

佐藤 寿一（名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学分野）

**S17-2 漢方医学卒前教育の現状と課題**

新井 信（東海大学医学部専門診療学系 漢方医学）

**S17-3 初期研修医に対する漢方医学教育（アンケート調査から考える）**

高山 真（東北大学病院）

**S17-4 世界に通用する漢方専門医を目指して  
～四国からの発信～**

山岡傳一郎（愛媛県立中央病院 漢方内科）

**S17-5 Web時代の漢方医学教育**

飯塚 徳男（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 漢方診療学）

# 特別演題プログラム

健康保険担当委員会シンポジウム

6月4日(日) 10:30~12:00

第2会場

## 保険診療における漢方薬の有効性を検証する

座長：木村 豪雄（桜十字福岡病院 漢方内科）

赤瀬 朋秀（日本経済大学大学院 経営学研究科）

### 1. 現代医療における薬物療法の現状と課題 –経営学の立場から–

赤瀬 朋秀（日本経済大学大学院 経営学研究科）

### 2. 医療ビッグデータを活用した漢方薬の有用性の検証

康永 秀生（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学）

### 3. 保険診療科における漢方専門医の使命

伊藤 隆（東京女子医科大学 東洋医学研究所）

生薬原料委員会シンポジウム

6月4日(日) 13:30~16:00

第3会場

座長：伊藤 隆（東京女子医科大学 東洋医学研究所）

高橋 京子（大阪大学総合学術博物館 資料基礎研究系）

### 1. 日本における生薬育成百年の計～生薬原料委員会提言～

山岡傳一郎（愛媛県立中央病院 漢方内科）

### 2. 国産生薬生産のための農業経営モデルの考え方と必要性

後藤 一寿（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
食農ビジネス推進センター）

### 3. 国産生薬で煎じ薬をまかなうために必要な、薬用植物栽培面積の算出調査プロジェクト

有田龍太郎（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科、  
慶応義塾大学医学部 漢方医学センター）

座長：伊藤 隆（東京女子医科大学 東洋医学研究所）  
並木 隆雄（千葉大学医学部附属病院 和漢診療科）

### 国際委員会

#### 1. 漢方医学の欧州等における実情

小川 恵子（金沢大学附属病院 漢方医学科）

#### 2. 中国現代事情

宮内 雄史（東京大学北京代表所 所長）

#### 3. ISOでの伝統医学医療の標準化動向

廣瀬 康行（琉球大学医学部附属病院 医療情報部）

### 用語委員会

#### ICD-11へに関して

#### 4. ICD-11の東アジア伝統医学分類導入の経緯

並木 隆雄（千葉大学医学部附属病院 和漢診療科）

#### 5. ME会議 マネージングエディターの苦労話

伊藤美千穂（京都大学大学院薬学研究科 薬品資源学分野）

#### 6. ICD-11における鍼灸領域の病証・「経脈病証」の提案

和辻 直（明治国際医療大学鍼灸学部）

#### 7. ICD-11発効に向けて

矢久保修嗣（明治薬科大学薬学部 臨床漢方講座）

## 特別演題プログラム

### 医療倫理・医療安全講習会 (利益相反の内容も含む)

第9会場

1. 6月2日 (金) 12:30~13:30
2. 6月2日 (金) 13:30~14:30
3. 6月2日 (金) 14:30~15:30
4. 6月2日 (金) 15:30~16:30
5. 6月3日 (土) 9:00~10:00
6. 6月3日 (土) 13:30~14:30
7. 6月4日 (日) 9:00~10:00
8. 6月4日 (日) 13:30~14:30

佐藤 弘 (DVD)

- 途中入場はできません。また、途中退場すると専門医・認定医の更新点数及び受験単位は付与されません。
- 各回同じ内容です。

### 専攻医のための説明会

第9会場

1. 6月3日 (土) 10:00~11:00
2. 6月4日 (日) 10:00~11:00

- 各回同じ内容です。

### 指導医講習会

第9会場

1. 6月3日 (土) 14:30~15:30
2. 6月4日 (日) 8:00~9:00

- 各回同じ内容です。

# 関連集会プログラム

市民公開講座

6月4日(日) 14:30~16:30

第2会場

## 漢方と鍼灸の知恵で幸せに生きる ～オキシトシンの恵、未病と養生～

座長：山口 英明（公立瀬戸旭看護専門学校）  
木許 泉（広瀬クリニック）

### プレトーク

高村 光幸（三重大学附属病院 漢方外来）

### 講演1 東洋の叡智が現代に蘇る ～オキシトシン健康法～

高橋 徳（ウイスコンシン医科大学 教授、総合医療クリニック徳）

### 講演2 漢方の知恵 ～未病と養生～

丁 宗鐵（日本薬科大学）

スポンサードセミナー1

6月3日(土) 9:00~11:00

第3会場

## 漢方エキス製剤の上手な使い方 －困ったときのこの一手－

共催：クラシエ薬品株式会社

座長：木村 容子（東京女子医科大学 東洋医学研究所）  
 演者：大谷 知穂（玉嶋血液内科・漢方診療所）  
 高宮城直子（NAOKO女性クリニック）  
 佐藤 ふみ（日本赤十字社安曇野赤十字病院脳神経外科）  
 木村 康子（木村耳鼻咽喉科小児科医院）  
 二宮 典子（女性医療クリニックLUNA心齋橋）  
 磯村 知子（磯村クリニック）

スポンサードセミナー2

6月4日(日) 9:00~11:00

第3会場

## 漢方のあゆみPart 3 ～漢方薬興隆の礎～

共催：株式会社ツムラ

コーディネーター：山田 享弘、針ヶ谷 哲也（金匱会診療所）  
高橋 京子（大阪大学総合学術博物館（兼）大学院薬学研究科）

### 生薬生産（栽培）及び流通について

笠原 良二（株式会社ツムラ医薬営業本部流通企画部特販課）

### 三島柴胡の契約栽培への取り組み

愛甲 一典（熊本県あさぎり町）

### 北里大学東洋医学総合研究所における診療・教育の実際

花輪 壽彦（北里大学東洋医学総合研究所）

## 関連集会プログラム

スポンサーセミナー3 6月4日(日) 13:30~14:30 第5会場

フレイルと人参養栄湯ー健康長寿に向けてー 共催：クラシエ薬品株式会社

座長：加島雅之（熊本赤十字病院総合内科・総合診療科）

演者：乾 明夫（鹿児島大学大学院 心身内科学）

ランチョンセミナー1 6月3日(土) 12:10~13:10 第2会場

“長寿菌”がいのちを守る！ 共催：株式会社ツムラ  
～大切な腸内環境コントロール～

座長：矢久保修嗣（明治薬科大学 臨床漢方研究室）

演者：辨野 義己（理化学研究所イノベーション推進センター辨野特別研究室）

ランチョンセミナー2 6月3日(土) 12:10~13:10 第3会場

座長：角田 朋司（つのだ小児科医院）

共催：整膚学園

万病を癒す整膚～究極の手当法～

滝井 宏隆（滝井医院）

在宅医療における整膚の応用～『快』から苦痛の軽減～

船橋 重喜（北里クリニック）

なぜ整膚で癌が予防できるのか？

角田 朋司（つのだ小児科医院）

私の研究と実践～整膚の便秘治療の即効性～

清水 知巳（しみず内科クリニック）

皮膚を引っ張ってシミと褥瘡の改善における整膚の画期的な効果

蔡 晶（NPO法人整膚美肌褥瘡予防協会）

ランチョンセミナー3 6月3日(土) 12:10~13:10 第5会場

山本巖医学から観えてくる『機能性消化管障害』の全貌 共催：大杉製薬株式会社  
～明日から役立つ理気剤の先進医学的な使い方について～

座長：八木 実（久留米大学病院、久留米大学医学部医学科外科学講座小児外科）

演者：山方 勇次（山方内科医院）

ランチョンセミナー4 6月4日(日) 12:15~13:15 第2会場

漢方の美しさ(三) ー対薬理論・血虚からの展開ー 共催：クラシエ薬品株式会社

座長：三谷 和男（医療法人三谷ファミリークリニック）

演者：松橋 和彦（長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 内科）

ランチョンセミナー5

6月4日(日) 12:15~13:15 第3会場

疣贅(いぼ)のみかた、治療のしかた

共催：小太郎漢方製薬株式会社

座長：中田 敬吾(聖光園細野診療所)

演者：江川 清文(天草皮ふ科・内科、東京慈恵会医科大学皮膚科、北里大学)

ランチョンセミナー6

6月4日(日) 12:15~13:15 第5会場

産婦人科医から見た女性のトータルライフサポート  
～「東」と「西」、そしてエクオール～

共催：大塚製薬株式会社

座長：喜多 敏明(辻仲病院柏の葉 漢方未病治療センター)

演者：梶山 広明(名古屋大学医学部 産婦人科)